

〈令和 8 年 8 月 31 日（月曜日） vol. 457〉

〜〜〜〜 トピックス 〜〜〜〜

☆ 燃料油や石油製品等の供給に関する相談窓口の設置について

政府においては、燃料油や石油製品等の供給について、備蓄放出や燃料油の激変緩和措置を含めて、万全の体制をとっているところですが、流通や取引の状況に影響が及ぶ場合に備えて、事業者の皆様からの情報を受け付ける相談窓口を設置しています。

詳細については、以下のウェブサイトをご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/kinki/press/kikaku/260331.html>（プレスリリース）

☆ 中東情勢関連対策ポータルについて

中東情勢を踏まえた農林水産分野における対応状況に関する資料を掲載しています。

https://www.maff.go.jp/chuto_josei.html

☆ 「夏の熱中症等対策声かけ期間」の設定について

農林水産省は、近年、夏季の高温化に伴い農作業中の熱中症リスクが高まっていることを踏まえ、熱中症の危険性や基本的な予防行動の啓発を行う「夏の熱中症等対策声かけ期間」を設定し、「いのちをうばう、夏のひとり作業」をキャッチフレーズに、農業者の皆様への声かけ運動を全国で展開します。

○令和 8 年度より新たに、7 月から 9 月を「夏の熱中症等対策声かけ期間」として設定し、声かけ運動を展開しています。

詳細については、以下のウェブサイトをご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/j/press/nousan/sizai/260630.html>（プレスリリース）

☆ 2027 年国際園芸博覧会（GREEN×EXPO 2027）について

2027 年国際園芸博覧会は、気候変動等の世界的な環境変化を踏まえ、我が国が培ってきた自然との関係性の中で、自然環境が持つ多様な機能を暮らしにいかす知恵や文化について、その価値を再評価し、持続可能な社会の形成に活用するとともに、国際的な園芸文化の普及、花と緑があふれ農が身近にある豊かな暮らしの実現、多様な主体の参画等により幸福感が深まる社会を創造することを目的としています。

開催場所：旧上瀬谷通信施設の一部（横浜市）

開催期間：令和 9（2027）年 3 月 19 日～9 月 26 日

博覧会区域：約 100 ha

参加者数：1,500 万人（ICT 活用等の多様な参加形態を含む）

有料来場者数：1,000 万人以上

テーマ：幸せを創る明日の風景（Scenery of the Future for Happiness）

詳細については、以下のウェブサイトをご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/kaki/flower/expo2027.html>

<https://expo2027yokohama.or.jp>（開催主体「2027 年国際園芸博覧協会」のウェブサイト）

《 新着情報 》

◇ 令和 9 年度農林水産予算概算要求について

農林水産省は、令和 9 年度農林水産予算概算要求を取りまとめ、公表しました。

「強く豊かな日本」投資枠（4,272 億円）も活用し、総額 3 兆 1,377 億円を要求しています。農林水産業の持続的な発展や食料安全保障の強化に向けた各種施策の推進を図る内容となっています。

詳細については、以下のウェブサイトをご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/yosan/260831.html>（プレスリリース）

◇ 令和 9 年度税制改正要望について

農林水産省は、令和 9 年度税制改正要望を取りまとめ、公表しました。今年度で適用期限を迎える税制特例措置の延長等をはじめ、農林水産業の発展に向けた税制上の支援措置について要望しています。

詳細については、以下のウェブサイトをご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/j/press/keiei/tyosei/260831.html>（プレスリリース）

◇ 令和 7 年度日本型直接支払の実施状況について

農林水産省は、「農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律」に基づき、地域の共同活動や農業生産活動を支援する日本型直接支払（多面的機能支払交付金、中山間地域等直接支払交付金、環境保全型農業直接支払交付金）を実施しています。

このたび、令和 7 年度における実施状況を取りまとめ、公表しました。

実施状況を見ると、多面的機能支払交付金は前年とほぼ同水準で推移した一方、中山間地域等直接支払交付金及び環境保全型農業直接支払交付金は前年に比べて減少しました。

詳細については、以下のウェブサイトをご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/j/press/nousin/tyusan/260831.html>（プレスリリース）

◇ 令和 8 年 7 月の米穀流通の動向（集荷、販売、民間在庫）の公表について

「令和 7 年産米の産地別集荷・販売状況」、「民間在庫の推移」及び「米穀販売事業者における販売数量・販売価格の動向」について、米の出荷・販売業者、団体等から報告のあった内容を取りまとめました。

主な動向は以下のとおりです。

＜主な動向＞（カッコ内は前年同月比）

全国の集荷数量 269.5 万トン(111%)、契約数量 260.6 万トン (106%)、
販売数量 170.6 万トン(88%)、民間在庫数量 162.0 万トン(176%)

滋賀の集荷数量 4.84 万トン(105%)、契約数量 4.72 万トン(102%)、
販売数量 3.08 万トン(77%)、民間在庫数量 3.20 万トン(302%)

詳細については、以下のウェブサイトをご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/j/press/nousan/kikaku/260828.html>（プレスリリース）

◇ 「令和 7 年地球温暖化影響調査レポート(確報)」の公表について

農林水産省では、「農林水産省気候変動適応計画」（令和 5 年 8 月改定）に基づく取組の一環として、各都道府県の協力を得て、地球温暖化の影響と考えられている農業生産現場での高温障害等の影響、その適応策等を取りまとめ、普及指導員や行政関係者の参考資料として公表しています。

今回の確報版は、「地球温暖化影響調査レポート（速報）」のデータを確定するとともに、地球温暖化による農畜産物への影響、適応策の普及状況、地球温暖化適応策等に関する参考情報を掲載しています。

本レポートに示されている適応策や熱中症対策等を参考としつつ、今後とも、適応計画に基づく取組が各都道府県で推進されることを期待します。

詳細については、以下のウェブサイトをご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/j/press/nousan/kankyō/260828.html>（プレスリリース）

◇ オーディエー株式会社における業務用加工食品（すりごま）の不適正表示に対する措置について

農林水産省は、オーディエー株式会社（大阪府大阪市浪速区敷津東一丁目7番16号。法人番号8120001037617。以下「オーディエー」という。）が、仕入れた「すりごま」に事実と異なる製造者の名称と住所を表示し、業務用加工食品として販売したことを確認しました。このため、オーディエーに対し、食品表示法に基づき、表示の是正と併せて、原因の究明・分析の徹底、再発防止対策の実施等について指示を行いました。

詳細については、以下のウェブサイトをご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/kansa/260828.html>（プレスリリース）

◇ 野菜の生育状況及び価格見通し（令和8年9月）について

大阪市中央卸売市場及び東京都中央卸売市場に出荷される野菜の価格見通し（令和8年9月）等について、近畿農政局及び農林水産省から公表しておりますのでお知らせします。

詳細については、以下のウェブサイトをご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/j/press/nousan/engei/260828.html>（東京都中央卸売市場）

<https://www.maff.go.jp/kinki/seisan/engeitokusan/yasai/kakaku.html>（大阪市中央卸売市場）

◇ 近畿農政局渇水対策本部の設置について

近畿地方では少雨の影響により、一部地域で取水制限が開始されるなど、渇水への対応が必要となっています。近畿農政局では、農業用水の状況や農作物への影響を的確に把握し、関係機関と連携して対応するため、8月25日に「近畿農政局渇水対策本部」を設置しました。

詳細については、以下のウェブサイトをご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/kinki/press/seibi/sekei/260825.html>（プレスリリース）

◇ 「近畿ブロック 特定外来生物クビアカツヤカミキリ防除対策セミナー」の開催について

「近畿ブロック 特定外来生物クビアカツヤカミキリ防除対策セミナー」を開催します。

特定外来生物であるクビアカツヤカミキリは、サクラ、ウメ、モモなどのバラ科樹木に深刻な被害を与えており、近畿地域においても被害の拡大が懸念されています。

本セミナーでは、クビアカツヤカミキリの被害発生状況や防除対策、課題などについて関係者間で情報を共有するとともに、効果的かつ効率的な広域防除体制の構築に向けた連携強化を図ることを目的として開催します。

○開催日時 令和8年9月10日（木曜日）13時30分～16時00分

○開催形式 オンライン（Teams）又は会場

詳細については、以下のウェブサイトをご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/kinki/press/syouhi/anzen/260821.html>（プレスリリース）

◇ 令和7年産米の相対取引価格・数量の公表について（令和8年7月）

農林水産省は、「令和7年産米の相対取引価格・数量（令和8年7月）」について取りまとめましたのでお知らせします。

全銘柄平均価格等は以下のとおりです。

＜全銘柄平均価格・合計数量＞

相対取引価格 32,486円/玄米60kg税込（対前月比104%）

相対取引数量 78,978玄米トン（対前月比88%）

滋賀県産の主要品種銘柄別データなどの詳細については、以下のウェブサイトをご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/j/press/nousan/kikaku/260819.html>（プレスリリース）

◇ 米に関するマンスリーレポート（令和8年8月号）の公表について

需要に応じた生産・円滑な米取引に資するよう、米に関する価格や需給の動向に関するデータを集約・整理した「米に関するマンスリーレポート（令和8年8月号）」が公表されましたのでお知らせします。

今月号では、「米の基本指針(令和8年7月28日公表)のポイント」、「水田における作付意向について（令和8年産第3回中間的取組状況（令和8年6月末時点））」及び「需要に応じた多様な米の作付けについて」を特集しています。

詳細については、以下のウェブサイトをご覧ください。

https://www.maff.go.jp/j/press/nousan/kikaku/260819_1.html（プレスリリース）

◇「食育実践優良法人 2027」の申請の受付開始について

農林水産省は、企業における食育活動を評価・認定する「食育実践優良法人 2027」の申請受付を令和8年8月17日（月曜日）に開始しました。働く世代を対象とした「大人の食育」を推進するため、従業員の食生活改善や健康づくりに積極的に取り組む法人を広く募集し、その優良な実践事例の横展開を図ります。

申請期間：令和8年8月17日（月曜日）から10月30日（金曜日）まで

詳細については、以下のウェブサイトをご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/hyoji/260817.html>（プレスリリース）

◇ 全国の棚田に会いに行って応援しよう！「全国棚田行脚！キャンペーン」の開催について

農林水産省では、棚田を訪れるきっかけになることを願い、全国213の棚田を対象としたスタンプラリーを実施します。全国の棚田を訪問し、スマートフォンのGPS機能を利用してデジタルスタンプを集めることができます。集めたスタンプ数に応じて認定証の取得や景品への応募が可能です。たくさんのご参加をお待ちしております！

開催時期

令和8年7月15日（水曜日）から11月30日（月曜日）まで

詳細については、以下のウェブサイトをご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/j/press/nousin/nihon/260710.html>（プレスリリース）

◆ 農林水産省補助事業の主な公募情報

- ・令和8年度新基本計画実装・農業構造転換支援事業（令和7年度補正予算）のうち麦・大豆ストックセンターの再編集約・合理化の第4次公募について

なお、公募結果は公募事業ページの下段に掲載しています。

詳細については、以下のウェブサイトをご覧ください

<https://www.maff.go.jp/j/supply/hozyo/index.html>（補助事業参加者の公募）

【審議会・検討会等の開催情報】

- ・第74回 食料・農業・農村政策審議会 食糧部会（9月2日）

※ 主な会議等の開催情報としてお知らせしています。

これまでに公表された会議等の開催情報はこちらをご覧ください。

詳細については、以下のウェブサイトをご覧ください

<https://www.maff.go.jp/j/pr/event/kaigi.release.html>（会議等の開催情報）

《 お知らせ 》

○ 農林水産省ウェブマガジン aff（あふ）8月号の最新配信のご案内

aff（あふ）2026年8月号の特集は、「“森”と触れ合う」です。

第3回の配信は、『秋に楽しむ美しの森』です。

素晴らしい絶景や動植物の観察、野外スポーツを大自然で満喫！

特に景観が優れた「日本美し（にっぽんうつくし）の森 お薦め国有林」の中から、秋に訪れたい魅力あふれる全国の森林スポットをご紹介します。

aff（あふ）の特集は、毎週水曜日の配信です。

詳細については、以下のウェブサイトをご覧ください

<https://www.maff.go.jp/j/pr/aff/index.html>

○ 統計公表情報

- ・令和8年産水稻の8月15日現在における10a当たり収量の平均比見込み及び前年比見込み（8月31日）
- ・令和7年木質バイオマスエネルギー利用動向調査結果（8月28日）
- ・作物統計調査 令和7年産パインアップルの栽培面積、収穫面積、収穫量及び出荷量（沖縄県）（8月28日）
- ・令和7年新規就農者調査結果（8月25日）
- ・農業経営統計調査 令和7年産 てんさい生産費（8月21日）
- ・農業経営統計調査 令和7年産 そば生産費（8月21日）
- ・農業経営統計調査 令和7年産 原料用ばれいしょ生産費（8月21日）
- ・農業経営統計調査 令和7年産 原料用かんしょ生産費（8月21日）
- ・農業経営統計調査 令和7年産 さとうきび生産費（8月21日）
- ・農業経営統計調査 令和7年産 大豆生産費（8月21日）
- ・作物統計調査 令和8年産一番茶の摘採面積、生葉収穫量及び荒茶生産量（主産県）（8月18日）
- ・令和6年産花木等生産状況調査結果（8月18日）

詳細については、以下のウェブサイトをご覧ください

<https://www.maff.go.jp/j/tokei/index.html#t>

○ オンラインコミュニティ（みのりボイス）のランディングページの掲載について

みのりボイスは、農林水産省統計部が実施する水稻収穫量調査の精度向上のため、生育状況や病虫害、気象被害などの現場情報をリアルタイムで投稿・共有いただくオンラインコミュニティです。投稿された情報は統計調査の参考資料として活用されるほか、参加者同士が生育見通しや営農判断に役立つ情報を共有できる場となっています。

詳細については、以下のウェブサイトをご覧ください

<https://minori-voice.maff.go.jp/lp/> [外部リンク]

《 日常的に活用できる情報 》

予算情報 みどりの食料システム戦略 食料・農業・農村基本計画
補助事業 MAFF アプリ 経営所得安定対策・水田活用直接支払交付金
米政策・麦・大豆 野菜・果樹・花き 茶・薬用作物・こんにゃく
収入保険 有機農業・環境保全型農業 農業生産工程管理（GAP）
畜産 地域計画 就農情報・農業分野における外国人受入
スマート農業・農業技術・農業用ドローン 農林水産物・食品の輸出
インボイス制度 メールマガジン・ソーシャルメディア 農林水産統計
などのリンク先はこちらからご覧ください。

https://www.maff.go.jp/kinki/tiiki/siga/20230113_mailmagazine.html

《 近畿農政局滋賀県拠点からのお知らせ 》

◆ 近畿農政局滋賀県拠点メールマガジンをご覧の皆様へ

- ・ご意見・ご感想・ご要望などお待ちしております。
- ・当メールマガジンの登録内容の変更（アドレス等）、配信停止連絡はこちらへ

e-mail : kinki_mailmaga_shiga@maff.go.jp

- ・「近畿農政局滋賀県拠点メールマガジン」の新規配信登録、バックナンバーはこちら
https://www.maff.go.jp/kinki/tiiki/siga/index_2012.html

◆ 農政に関するご相談、ご質問は地方参事官ホットライン(滋賀県拠点)へ

近畿農政局滋賀県拠点では、農業者・消費者・行政・農業団体等の関係者の皆様から、農政に関するご相談、事業や制度へのご質問などを地方参事官ホットラインで受け付けていますので、お気軽にご相談ください。

電話 : 077-522-4261

https://www.contactus.maff.go.jp/j/kinki/form/hotline_shiga2812.html

所在地 : 〒520-0044 滋賀県大津市京町 3-1-1 大津びわ湖合同庁舎 (6F)

近畿農政局滋賀県拠点地方参事官室

☆ 個人情報保護のため、農林水産省外の方へは bcc にて送信しております。